

はじめに

八ヶ岳中央農業実践大学校は信州八ヶ岳の西麓、標高1300mの高地に位置し、学生・職員一体となって作物の栽培・家畜の飼養を実践し、明日の農業を担う人材の育成を目標としています。体験学習をされる生徒の皆様も雄大な大自然の中で、農林業への理解を深め、同時にいのちの大切さ、自然の中での人間という存在について何かを感じ取っていただければ、と考えております。

農業は人間生活の根源となる食料の生産を担う極めて重要な産業であり、また林業は木材を生産するという目的のみならず近年は環境保全の見地から大変注目されています。

しかしながら就農人口の減少や高齢化が進み、職業としての農林業への関心は、他の産業に比べ著しく低いのが実情です。特に都市部の生徒の皆様にとっては、直接的にしか農林業を知る事が出来ない状況です。実際の作業を体験する事で、より身近な存在を感じていただければ幸いです。

また農林業は動植物を飼育・栽培、販売する事がその主目的ですが、言葉を変えればいのちを育みつづ、その犠牲の元に成り立っている産業です。他の産業と同様に、利権の追求は当然の命題で、採算性の前に一般的には残酷とも思える行為が行われているのも事実です。実際に自らの手で作物・家畜に触れる事は、生態系の中での人間の位置を知り、他の生命への感謝と慈しみの心を持った人間になるための重要なステップになるものと確信しております。

現代文明において工業やその製品は便利さと引き換えに環境を著しく汚染してしまってきました。生産性を理由に環境への配慮が足りなかったり、なされなかった事があったのは農林業も例外ではありません。現在、環境対策は地球規模での取り組みを必要とする大変重要な問題となっていますし、多くの分野で対策がなされるようになってきました。地球環境がそのまま生産現場である農林業にとって、環境を汚染しないのは勿論の事、環境を回復するための努力が必要不可欠となっています。土や水、大気を肌で感じ、その直接の生産物である動植物に触れる事で、環境問題をより身近な事としてとらえるチャンスにしていただきたいと思います。

本書は当校で農林業体験学習をされる小・中学生を日頃指導されている教職員の皆様、学習指導月資料として企画、編集いたしました。地域、学年によってレベルに見合った内容を適宜御利用いただければ幸いです。

八ヶ岳中央農業実践大学校